

テーマ『コロナについて語ろう』

令和2年7月18日(土) 9:00-9:50 集会室にて

参加者 保護者10名



川中子 おはようございます。本日はこのような雨の中ご来校いただきありがとうございます。それでは、時間もあまりありませんので、本日のレジメに沿って、1番から。まず、3月からの「休校」について、休校中の家庭学習について。家庭ではどうだったのか、主に苦労話を中心に、差し障りのない範囲でお話いただければと思います。自己紹介を兼ねて、お子さんの学年など最初にお話してください。

Aさん 4年生と1年生の男の子がいます。一番最初、学校が休校になったときには、割と規則正しい生活ができていました。だんだん後半になってくると、「家疲れ」というか。ずっと、家から出られないということで、少しずつ朝が遅くなって、ちょっと夜が遅くなって、という感じでした。朝6時半に起きていたのが、7時過ぎになって、という日が多くなってしまっ。宿題が出るようになってからは、なるべく学校の時間割通りに生活させようということで、タイマーとか使ったりしたんですが、そこまでの量のプリントとかもなく、終わってしまうと「今日はもう何もすることがない」という感じになってしまっ。なかなか外に出られないという状況の中で、生活のメリハリが難しいという感じでした。家の中を走り回って、兄弟げんかが増えたりとか。そんな感じでした。

Bさん おはようございます。5年と2年に子どもがいます。最初は、どうやって1日過ごそうか、充実した時間を過ごさせたいなと考えていたんですが、後半になると私もだんだん疲れてきて、疲れたところに、学校から1週間の時間割と共にプリントとか配られて、あれもすごく助かったんですが、それをさせるのも結構いっぱいばいばいで。こっちの負担が多いかなという気持ちもあったり。なんだかんだいって、こっちも結構疲れたなという感じでした。今日はよろしくお願いします。

Cさん おはようございます。1年生に息子がいます。休校中ですが、私も主人も仕事をしなければならなかったんで、学童に通わせていました。規則正しい生活はできていたんですけど、小学校のリズムがまだぜんぜん分からない状態であったので、どうやって教えたらいいのかっていうのが全く分からず、皆さんの勉強の仕方、声かけの仕方などを聞けたらいいなと思っています。よろしくお願いします。

Dさん おはようございます。5年生に娘がいます。休み中は意外と規則正しく、ルーティンができていて。ただ勉強の量はすごく心配で。家の勉強の量と、学校の勉強の量が全然違うので、そればかり気にしていました。あとは、とにかく運動不足が気になったので、時間で川に行き行って走っていました。よろしくお願いします。

Eさん おはようございます。今年入学したばかりの子がいます。小学校が初めてなので、いきなり休校ということで、どういうスタートになるのかなと思っていましたが、宿題が出て、まったく興味がないというか、同じひらがなを何十回も書くとか、好きなお友達にお手紙を書くっていう、そういう楽しいことには自ら字を書くんですけど、そういう宿題という形になって、おんなじ字を書きなさいっていうのは、まったくやる気がなくて。それはそれで、正しい姿なのかなと、私は思っていて、そこまで、宿題はがんばらなくても感じてじゃなく、あんまり人がいないようなところで毎日遊びに行き行って過ごしていました。実際学校が始まって、何とか友だちもでき、楽しそうに通っていて。また休校になったらどう?ならないのかな、という感じで。この人数でもならないので、このままならない感じで行くのかなと思って。皆さ

んのご意見、校長先生のご意見を伺いたくて、初めて参加しました。よろしくお願いします。

Fさん 3年生の男の子と、1年生の女の子がいます。うちも、皆さんと同じで、休校中前半はわりと学校ないけど、いろいろスケジュールを立てて楽しくやっていたんですけど、学校の宿題のボリュームが多くなってから、うちの子どもたちは宿題があまり好きじゃないので。一人はむちゃくちゃいやがり。1年生の子は、学校の宿題というより私からやれっていわれている感じで、かなりいやいややっていたので、かなり勉強心配だったんですけど。学校が始まってみんなと一緒に勉強するようになったら、やらないといけなくてわかるようになって、宿題とかもちゃんとやるようになったので、やっぱり集団の力はすごいなと思いつつ安心していきます。休校中ではないんですけど、これから夏休みになりますが、今年の夏休みは、毎年、夏休みは私の実家に帰省してはいたんですけど、それもたぶんできず、行く場所も遊ぶ場所も、児童館もなく。いったいどう過ごせばいいのかわからない。子供たちも夏休みいろいろ楽しみにしていたので、実家に帰省を。そのモチベーションも下がり、ちょっと来月が怖いなと思っています。よろしくお願いします。

Gさん 6年と4年と3年の男の子がいます。苦労話ばかりで、時間がいくらあっても足りないくらいで。とにかく、兄弟げんかがすごかったです。ストレスがたまって、3人男の子なので、家が壊れるんじゃないかっていうくらい兄弟げんかをしていました。後、時間があると、ゲームですね。男の子なので、ポートレート(?)っていう、インターネットでつながるゲームを、時間があれば。一番は、学校がある時間はゲームはしないって決めていたんですが、やるのが終わるとすぐゲームにいつってしまうという状況が、親としては困っていました。あと、宿題の量に関しては、長男は自分でやっていたんですけど、4年と3年はまったくもって自分ではやらないので、夫と私でつきっきりになってやらなければいけないような状況で、大変だったかなと思います。その中でもいいところとしては、一度立ち止まれたっていうか、子どもが苦手なところに気づけたっていうところでは、こんなことも分かってなかったんだ、こんなこともできてなかったんだっていうところがすごくわかって、立ち止まってそこをじっくり教えることができたっていう点では、親としては良かったところかなと思います。

Hさん 6年の娘がいます。よろしくお願いします。全体として、3ヶ月まるまる休校だったと思うんですけど、全体通して、うちはお兄ちゃんもいるんですけど、朝昼晩の食事から、起きる・寝るの時間は基本的には変わらず、普通の平日と同じような形でうごけたのかなと思っています。学習については、結構他の学校のお母さんとかに聞くと、この第三吾嬬は、課題とかを管理とか出してもらったりと言うのがちょっと早かったのかなと。それはすごくやりやすかったんで、ありがたいことでした。なので、全体的に、午前中はお兄ちゃんも含めてお勉強を、二人でやっているっていうことが多くて。途中主人もまるまる1ヶ月くらい、在宅になったときがあったんですけど。その時も主人は子どもと遊ばないように、自分も在宅だったので、同じように生活を崩さずにやって、だいたい3時以降になると、やはり運動もさせたかったので、3月くらいから、広い公園に自転車で行って、家族で運動を夕方して、帰って来て食べてって言う感じで。家族でそろって何かをするっていうのが、多かった3ヶ月だったかなと思います。学習面については、かなり不安なことが多かったんですが、全体の生活リズムに関しては、健康面でも崩さずに過ごせたのかなと思います。

Iさん 5年と3年に子どもがいます。うちも3人子どもがいるんですけど、兄弟げんかが毎日すごくて。上の子はやっぱり自分で計画立てて、宿題とかできるんですけど、真ん中の子が本当にできなくて、私がつきっきりで見なければならぬ状態。それで、やりたくない、って半べそになって、泣き泣きやっていた状態。そうすると一番下の子をほったらかしの状態になるので、今度はこっちがひまになって、上の子にちょっかいをかけて、うちの中がごちゃごちゃになって、私もすごくストレスがたまって。一回、トイレにこもったんですけど。(笑)私も限界、という感じで。それと、3年生の課題で、算数で、一回難問があっ。とけなくて。「ママが解いてあげるから!」って大口たたいたら、私も解けなくて。課題は、ちょっと易しいものにしていただけたら、と思いました。主人は単身赴任なので、ずっと3ヶ月も一人で。近くに、おじいちゃんおばあちゃんもいるんですけど、日中は一人で見ていたので。これからは感染者の人数で帰ってこられるかどうか分からないので。子供たちも不安定になったり、パパに会えずに不安になって。勉強の面もそうですけど、気持ちの面もケアして行かないといけないかなって。その方がちょっと難しいかなって思っています。

Jさん 5年生と3年生に子どもがいます。あと中学生と幼稚園生いて、4人子どもがいます。ストレスはありまして、コロナが理由か分からないんですけど、日頃からよくけんかをしていたので、長いこと一緒にいるのでけんかは絶えなかったです。あと、学習のことが心配だったんですが、早めに学校から課題が出たり、メールでの連絡やYouTubeの配信があったり、いろいろ学校から配信があって助かったと言うのもありました。それ以外にも、タブレットを使った学習を。学習が心配だったものから、進研ゼミとか Z 会

だとか、ああいうようなものを繰り返したりだとか。あと、今、ネットのオンライン授業が重要になってきて。割とあの中でも早かったのは、習い事ですかね。そろばんであったり、ピアノ教室であったり、体操クラブとかは早々とズームを使って授業をして。今後学校でも使えるといいな。そういう取組がやっていたらとありがたいなと思いました。後、保護者としては、自宅で働いていたものですから。私は営業で電話をしなければならなかったもので、そこはやりにくかったなあと。以上です。

川中子 ありがとうございます。今、お勉強の話が多かったんですが、精神的にお子さんが不安になっているとか、そういうことはございませんでしたか？実は、学校は毎週、フォームというアンケートを行っていたので、結構詳細にほぼ全員の家庭の状況を把握できていたんです。ただ、それは、保護者からの情報だけでしたので、子どもの様子は実際には見られませんでしたので、分からなかったのですが。中には、夜不安で眠れないなんていう子もいるという話を聞きました。テレビを見ても、毎日コロナ、コロナって。怖くなってしまっている子もいました。そんなことはありませんでしたか？

Fさん ちょっといいですか。休校中は特に心配な子とはなかったんですけど、学校が始まってから、なんか外に出るのが怖くなったとか、初対面の人に会うのが恥ずかしく得ていやだとか、そういうことを言い出していました。今もう収まったんですけど。

川中子 特に1年生はねえ…。

Fさん あ、1年生の方は平気だったんですけど、上の子の方がそういう感じで。

川中子 ああ、それでは、人と会わない生活が長くなって、人に会わないことが当たり前になってしまっていたと。

Fさん そうですね。

川中子 ああ、確かに。子供たちは学校に来るようになったとき、みんなちょっとよそよそしい感じでした。夏休み明け、見たいな感じはみんなありましたね、確かに。

Aさん うちの場合は、主人が会社に行かなければならないときもあって、帰ってくると「パパ、来ないで！」みたいな感じで、ハイキン扱いで、「手洗い・うがい、除菌しない限り僕の近くに来ないで！」みたいな。逆に学校に行き始めたら、知らない人に声をかけられたことがあったみたいで。知らない人なのに、こんな時期なのに声をかけるというのはどういうことなんだろう。大人なのに、どうして知らない僕に声をかけるの？おばあちゃんか誰かに、ああマスクしているのね、というようなことを言われたようなんですが。うつるかもしれないじゃないか、とか。マスクをしていない人を見ると、なんでマスクをしていないんだ、とか。神経質になっていました。ちょっと今も続いています。

川中子 なるほど。大人でも不安になったり、神経質になったりすることもあるくらいですから。子どもとなおさらかも知れませんが。

勉強の面に関しては学校から課題も出して、ご協力いただきました。今日は、学校ではどんな状況だったかというのをお配りしましたが、とにかく、突然のことでしたので。前例のない、誰も経験したことのないことで、何をどうしていいか、誰にも分からなかった状態でした。その中では、比較的、三吾小は保護者の協力を得て、この3ヶ月を何とかうまく乗り切れた学校なんじゃないかなと、私としては思っているんですが。この間、勝手なことを勝手にやっていたので、私は教育委員会からもおしかりを受けまして、はい。ですが、子供たちのために何かできないかということで、いろいろ考えてやってみました。まず、三吾小独自にスタートしたのが動画配信でした。休校中の自由登校日というのを二日やりました。その後後追いのように教育委員会の居場所づくり・校庭開放というのもやりました。その自由登校日があったおかげで、休校中の家庭学習の状況を早めに確認することができました。そういうステップがあって、4月から休校が伸びたときにも、この調子でいけるなという見通しが立っていましたので、4月6日に他の学校が1ヶ月分の宿題をどんと出ただけだったときに、三吾小は1、2週間分だけを配布して行きました。4月2週目には、教育委員会の許可をとって、保護者の方に取りに来ていただくというのを始めました。最初っから、まだ、必修とする前から、92.5%のご家庭に協力いただいていたので、残りの方に電話して来ていただくようになって、ほぼ100%になりました。教材のやり取りをするのも、5、6回行うことができました。三吾小が先にやっていたやり方を教育委員会でも採用して、5月の3週目から全校で同じようなやり方で家庭学習が始まりました。その時は本校はすでに1ヶ月は先行してシステムが構築できていました。動画については、教育委員会も5月の2週目くらいから、動画配信をやりましょうと言い出したのですが、その段階では三吾小はもう20号くらいまでの配信をやっていましたので。

私たちはフォームのアンケートで大体の意向というのがつかめていたので、今どういう問題が起こっている、何に困っていると言うことが分かりました。そのために何ができるのかということを考えていったということですが、もちろん各家庭で状況も違いますので、学校がやったことはすごく良かったとは思っていません。ただ、あの状況の中で、とにかくできる限りのことをやろうということではできたのではないかなと思っています。これをうけ



て、今後のことを考えて行ければなと思っているのですが。

学校が再開して、今の学校の感染予防対策について、一枚資料をお配りしました。今、学校ではこういうことをやっています。これはコロナが始まる前にはなかったことですので、先生達にとってはかなりの負担になっています。先生達もいやな顔せずやってくれているので、私もありがたく思っています。子供たちにとっても、コロナの前の日常は今はありません。例えば、給食はみんな前を向いて、静かに食べています。今までは給食は楽しく食べるようにしていましたが、今はそういうことはできなくなってしまいました。体育は接触するような運動ができなくなったり、一番悲惨なのは音楽で、歌ってはいけない、リコーダーを吹いてはいけない。何をすればいいんですか、って感じです。日常という意味ではすごく変わってしまいました。しばらくは、長期戦で対応していかなければならないと思っていますが、学校のやっている予防のことなどについて、何か不安なことなどはありますか？

Aさん 予防ではないんですが、子どもがずっとマスクをしっぱなしで、マスクをしているところがあせもができて困っています。土日は外して、良く洗って、クリームぬってとやって、月曜日には少し良くなったかなと思っています。また一週間でひどくなるの繰り返しです。学校で、先生の方から、顔を洗うように話していただけるといいのですが。

川中子 ありがとうございます。確かに、マスクをするというのも新しい生活で。具合が悪いときにマスクをしている子はいましたが、今は全員マスクをして生活しています。体育の時間はほぼ全員外しています。熱中症の心配もありますので。そのかわり間隔をあけて、とやっています。もちろん、子どもですから、完全にはできませんが。

今、心配しだしたらきりがなく、最終的には、学校に来ないことが一番なんです。勉強もしなければならぬ。そこら辺の折り合いをどうつけていくかは、今、世界中の人が悩んでいるところです。とにかく、今できることは、手洗い・うがいの徹底、マスクの着用、そして家庭での検温ですね。

これから、こういうことが続いていくときに、子供たちのために何ができるかということを考えていくと、先ほど話の出たオンライン授業なども、一つの可能性として注目しているところです。状況としては、墨田区はGIGAスクール構想というのを進めていまして、今年度中にみんなにタブレットを配布するところまでいけるのではと思っています。三吾小では、去年までも一人一台のiPadの活用をやっていましたので、もし一人一台配布されたら、2年生以上の子供たちは、普通に使えるんじゃないかなと思っています。あと、Zoomですか、そういう双方向のやりとりができるツールもありますが、学校では休校中に全職員が、えー2/3の職員は在宅になっていましたので、Zoomでつないで、朝会を行ったりしてきました。ですから、そういうことももう準備は整っています。その当たりのことで、こんなことができたらいんじゃないかというお考えをお持ちの方はいらっしゃいますか？

Hさん うちも、お兄ちゃんが中学校で、私立だったので、MicrosoftのTEAMSでオンラインをずっとやっていたんです。その前は課題だったんですが、課題よりも、先生の顔を見てやっている方が、集中しているかどうかは分からないんですが、急に当てられてということもあるので、子どもも課題だけやるよりも、自分の担任の先生が見えて、ちょっとコミュニケーションがとれる。そういうのをたまにやってもらえると、子どももやる気を出せるのでは、他の子もいて楽しいって思っ取り組めるのではないかなと思います。

川中子 私立の学校がそういう風にオンラインでやったりしているという話があり全国では15%くらいの学校がオンライン授業などをしたという統計が出ていますが、たいていの公立学校はそういうことができていませんでした。そういう可能性はこれから本当に追求していかないと。ただ課題だけ出して、いついつにこれをやりなさいって言われたって、子どもはできるわけじゃないよと、出している側の私でもそう思います。学校でみんなでやる

からできるのであって、一人でやるっていうのは本当に難しい。保護者の方がつきっきりになって見てあげなければできなかつたらと思うます。しかし、もしオンラインで少しでも実際に対面するわけではなくとも、コミュニケーションをとることができれば、子どもにとっては励みになるのではないかなと思いますので、使える物は何でも使ってやっていきたいと考えています。

家庭の方で Wi-Fi の環境が整っているかが問題で、もし整っていなければモバイルルーターなども一緒に貸し出しする計画になっています。教育委員会は今、本当に一生懸命やってくれていて、ユーチューブなんかでもその取組の様子を配信してくれています。

Aさん そういう対面の授業というのがあるんですが、ユーチューブとかで単元事に先生が授業をあげてくれば、分からないところを何度も見返すことができているのかと。対面で一緒にやるところと、苦手なところは自分で何度も見てやるようなことができると。親が教えるのではなくて、親がユーチューブを設定してあげて、これを見てねって見せてあげられるといい。先生の説明の方が親よりもうまかったりする。親の負担も少なくなるかなと。

川中子 そうですね。最初は、「オンライン」で双方向でできるようになるまでは、私たちもやったようにユーチューブでアップして、「オンデマンド」という方法で、一方的に送るということができるようになりました。それは、教育委員会でもいろいろと番組を作っていて、理科や社会の単元ごとに短時間の授業動画を作っています。両方をうまく使っていいですね。オンラインもオンデマンドもそうですが、この ICT を使ったものは、時間が長くなるととても疲れるので、短時間でできるものでなければいけませんね。うまく使い方を考えていきたいです。

他いかがでしょうか。運動不足のことも心配でしたね。

Iさん 先生達の運動の動画はとてもおもしろくて、見ながら一緒にわーってやっています。ありがたかったです。

川中子 動画配信は、今は当たり前になってきましたが、初めは先生方の抵抗も強くちょっと大変でした。

一同 ああ、顔が出てない動画もあった！ 何で出てないんだろう、って言ってました。

川中子 ネットに載せるというのは、危険もありますので。それで、顔は出なくてもいいですから、声だけでもいいから、とにかく子どもたちにメッセージをお願いします、と言って、ようやくあの体操のが出たんですね。あれが、一本出た後は、結構スムーズでした。区の方でも、5月半ばからやってください、って言い出していましたので。限定公開ではあれ、危険はあるので。そういうこともクリアしながら、考えていかなければと思います。

まあ、今回の経験というのは、もちろん私自身の教員人生でも初めてですし、終戦直後の状況を除いては、震災の時の東北地方など、一部地域的なことはあれ、全世界的にこのようなことになるのは初めてです。学校って何なんだろう、っていうことを考えるいい機会にもなりました。それでは、そろそろ時間ですが、何か他にありますか？

Fさん もうすぐ夏休みになるんですが、何かこんな過ごし方がありますよっていうアイデア見たいのがあればぜひ教えていただきたいです。

川中子 東京の皆さんは…。私は埼玉県民なんですが、東京の皆さんは、どうなるんでしょうねえ？ GO TO キャンペーンは東京は除外されたようですが、東京の人が地方に来るといやな顔されたりもあるようなので。

Aさん 夏休みなのに、イベントというイベントが全部中止になってしまっているの、かといって屋内も良くないし、屋外では熱中症が心配で。せっかく密を避けるために、広いところに行ったら、そこにみんなが集中しているとか。どうすればいいんでしょうかね？子どもも夏を楽しみにしているのに。

川中子 本当に問題ですね。それでは、一応ここで時間になりましたので終わりにします。この天気悪い中、ありがとうございました。私自身は、皆さんの意見を聞かせてもらっていろんなことを決めていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。今日は、ありがとうございました。

(文責:川中子)

